

出張報告書

下 関 市 議 会 議 長 殿

令和7年11月14日

職氏名 議員 竹村 克司	用 務 第20回全国市議会議長会 研究フォーラム in 札幌
期 間 令和7年 8月26日(火)から 令和7年 8月29日(金)まで	出張先 北海道札幌市

別紙のとおり

研修費（ 竹村克司 ）出張報告書

令和7年8月30日

氏 名 竹村 克司	研修会等題名 第20回 全国市議会議長会研究フォーラム In 札幌
期 間（研修会） 令和7年8月27日から 令和7年8月28日まで	研修会等会場（市区町村名） 札幌市

研修会概要・意見等

8月27日、28日の二日間札幌文化芸術劇場 札幌市民交流プラザ4階にて、全国市議会議長会研究フォーラムが開催され、参加をさせていただきました初日は基調講演

「主権を預かる誇りと責任」と題して、元衆議院議長の伊吹 文明先生の講演がありました。同じ京都出身であり、子供のころからよくポスターを見かけていましたが、大変お元気で、議員としての誇りと責任をテーマに、貴重な講和をして頂きました。次に、「多様な人材の参画促進の観点から地方議会議員のなり手不足問題を考える」をテーマに4名のパネリストと、近畿大学法学部教授の辻 陽先生がコーディネーターになり、計5名が登壇され、それぞれの視点から地方議員のなり手不足問題についてディスカッションされました。

二日目の午前中は、「地方議会議員のなり手不足問題の取り組み報告」と題して、3名の事例報告者と、関東学院大学法学部地域創生学科教授の牧瀬 稔教授がコーディネーターになり、各地域のパネリストと議員のなり手不足問題についてディスカッションをされました。昼食の時間の時には、下松市議会議員の方が団体で来られており、ベテラン議員の方から貴重な話を聞かせて頂きました。午後からは、視察Aコース札幌市「次世代エネルギーの活用」の視察に参加しました。一つ目が、令和6年12月に完成し、2月にオープンした、札幌市中央区複合庁舎の視察に行きました。構想5年、アンケートや、ワークショップ、パブリックコメント、事業手法の検討、多くの方の意見を聞き、設計、建築に109億円をかけ、地上6階、地下2階の立派な庁舎を見学することが出来ました。いつの時代も区民に寄り添い、区民に愛される「まちのコンシェルジュ」基本コンセプトを掲げ、工夫を凝らしたみんなに愛される庁舎を建てられました。次に、エア・ウォーター水素ステーション

札幌大通東へ視察に行きました。今回は、どれも魅力的な視察プランでしたが、この水素ステーションが一番の目当てで視察に来ました。まだまだ試行錯誤を繰り返しながらも、少しずつ進化していている再生可能エネルギーの水素ステーションを見ることができ、大変勉強になりました。普及するまで課題はたくさんありますが、今後の展望に期待できる視察でした。最後に向かったのが、モエレ沼公園（雪冷房システム）雪が解けた冷水を熱利用して冷房にするのが雪冷房で、公園内に積もった雪を断熱された雪貯蔵庫に蓄えて、6月から9月の夏季にガラスのピラミッドの館内を「熱交換冷水循環方式」で冷やし、効率の良い再生可能エネルギーを視察することが出来ました。今回も多くの知識を得ることができたので、下関市に還元できるよう、今後も提案していきます。